

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
1. ジビエの利用拡大について	(1) 捕獲した野生鳥獣の肉「ジビエ」を利用拡大し、ビジネスとして持続可能で、捕獲から搬送、処理加工、販売までの流通体制を構築するとともに、安全かつ良質なジビエを飲食店や小売店などに安定供給できる取り組みを、町としても後押しするべきではないか。	町 長
2. 大津町公の施設の指定管理者制度に係る運用指針の見直しについて	(1) 指定管理者制度はサービス向上や経費削減で成果が見られる一方、町民には仕組みがわかりづらい。今後、指定管理者制度を積極的に導入するためにも、運用指針をよりわかりやすく明確化し、ホームページ等に公開するとともに、下記に記載した項目を追記すべきではないか。 ①指定管理者制度を導入するかどうかについての判定基準と、利用者への説明義務。 ②指定管理者の意欲向上を促すため、成果を挙げた優秀指定管理者を表彰する仕組みの構築。 ③災害や事故が発生した場合の対応など危機管理に対する規定。	町 長

一般質問通告書

通告順番 1 番
 通告者 豊瀬 和久 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
3. 土地区画整理事業について	(1) 道路、公園等の公共施設を整備・改善し、土地の区画を整え宅地の利用増進を図るべきではないか。	町 長
4. 手話を言語と位置付けて普及を促す手話言語条例について	(1) 手話が音声と対等な言語であるとの理解を深めるためにも、手話に関する啓発を進めていく必要がある。SDGsの「誰一人取り残さない」との理念に従って、共生社会を実現させるためにも、手話を言語として認識し、町民に理解を促すとともに、手話の普及に関する基本理念などを定めた手話言語条例を早急に制定すべきではないか。	町 長

一般質問通告書

通告順番 2 番
 通告者 田代 元気 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. マイナンバーカードの普及と活用について</p>	<p>(1) 政府は、自治体ごとのマイナンバーカードの交付率を地方交付税の額に反映させる方針を打ち出したが、本町においての交付率はどの程度か。また、7月から始まったマイナポイント第2弾開始後は事業開始前と比較しどの程度増えているのか。</p> <p>(2) マイナンバーカードの活用方法として、健康保険証として利用できるが、町内医療機関においてどの程度の施設が機器等を整備しているのか。</p> <p>(3) 今後、交付率によっては交付税が減額されることも懸念されるが、これから普及と活用に向けどのような取り組みを行うのか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 中学校部活動の地域移行について</p>	<p>(1) 本年3月議会において一般質問を行い、半年が経過した。この半年で中学校部活動の段階的な地域移行に向けた取り組みについての進捗状況を伺う。</p> <p>(2) 前回の質問では、運動部についての質問だったが、文化部についてはどのような取り組みを行っているのか。</p> <p>(3) 令和5年度より開始されるが、残り半年でどのような取り組みを行うのか。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番
 通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 親水の要素を取り入れた都市公園の整備について</p>	<p>(1) 振興総合計画の説明を行った町づくり懇談会の中で「誰もが行きたくなる都市公園の整備」の要望として大津町の目玉となるような公園があると良い、子供の目線を取り込んだ公園づくりをしてほしい、と意見が上がっていた。都市公園の整備をするにあたり、単に植栽を整える、遊具を整備するのみでは漫然とした都市空間の間隙となるだけで集客力のある施設とはならない。近年の猛暑の影響で親水に対する要望は大きい。特に町中部にはそうした親水公園の性質を持った都市公園が無いのは寂しいと思料する。 以上の観点より</p> <p>①都市公園整備にあたり先進事例調査・研究の進捗状況は。</p> <p>②熊本の水資源、地下水資源を活用し、活気ある親水公園は作れないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 町のPR戦略の指針とSNS時代における情報提供の強化について</p>	<p>(1) ここ3か月のYahooやGoogleの検索を見ていると「大津町」のキーワードやタグが付いている報道が少ない。少なくとも近隣市町村の発信する話題のほうが多いように感じる。本来であればコロナ禍であっても夏季はイベント等PR・情報発信が盛んになる時期であり「攻める広報」「積極果敢なSNS活用」を行い観光促進のみならず国内外企業誘致への知名度アップも含め他市町村に後れをとってはならないと思料する。以上の観点から</p> <p>①SNS全盛の時代における町のPRの指針と成果は。</p> <p>②熊本県における市町村検索数1位を目指し、既存媒体であるテレビ、新聞をも巻き込む戦略と世代全てが反応する広報戦略は。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 3 番

通告者 時松 智弘 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>3. 消防団の活動服のデザインと交付要領について</p>	<p>(1) 消防団の操法大会を拝見し、町の防火体制・防災体制の強化に尽力する団員の皆様の努力には敬服した。日頃の訓練成果を遺憾なく発揮されていた。こうした消防団の日頃の活動に対し手厚い予算措置を行っていかねばならない。周辺市町村においては担い手不足に陥っているところもあり、人口増加・世帯数増加・企業進出が続く本町で地域防災力強化は重要と思料する。</p> <p>消防団に交付される被服のデザインについて周辺市町村の物に比べ地味な色味となっており、夜間や暴風雨時の視認性が良くないとの意見がある。また消防指揮の円滑性を考慮すれば、現行統一されたデザインでは消火作業時において連絡調整が困難な場合もあると聞いている。</p> <p>夜間等での視認性を上げる上では指揮系統をもって動く団の活動を考慮し、団長・副団長・分団長が即時識別できる反射材などの工夫が必要である。</p> <p>①オレンジの色味を基調に反射素材を活用した被服の貸与は出来ないか。</p> <p>②指揮にあたる団員識別の工夫について考慮できないか。</p> <p>③現在の作業服については団資機材整備用として引き続き貸与できないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 4 番
 通告者 荒木 俊彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. DV被害者等への支援充実が求められている</p>	<p>(1) DV被害者への支援体制の充実明確化が必要。男女共同参画推進プラン重点課題となっているが、人権推進課・福祉課・住宅、税務他などとの連携した対応体制が必要ではないか。(総務部人権推進課を中心に) 特に住まいの緊急確保は、町営住宅条例の改正など緊急な改善が必要ではないか。(緊急入居の条例、要項など)</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 生活困窮者への血の通った支援を</p>	<p>(1) 改めて、高齢者世帯や一人親家庭、生活保護家庭などで生活に困窮されている家庭にエアコンの設置補助が必要と考える。非課税世帯への一時金支給はあくまでも生活支援であり、エアコン設置は酷暑のなか高齢者や子どもたちなどの命と健康を守るための設備であり、今年だけの問題ではない。血の通った支援が必要ではないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 旧統一協会の関連団体主催の「ピースロード2022」への名義後援について</p>	<p>(1) 安倍元首相の銃撃事件をきっかけとして「旧統一協会の反社会的活動」が改めて明らかになった。宗教を隠れ蓑にしたカルト集団主催の行事を</p> <p>①なぜ後援したのか。(名義後援の判断基準はあるのか)</p> <p>②後援を取り消した理由となぜ公表しなかったのか。</p> <p>③町長には相談はなかったのか。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 5 番

通告者 大村 裕一郎 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 空き家対策について</p>	<p>(1) 日本全国で空き家が増加し社会問題になっている。中には、周囲に危険を及ぼす空き家に対して行政代執行などの対策が取られるなど好ましくない事例もあり、喫緊の課題となっている。</p> <p>大津町では、空き家バンクを創設し、ホームページなどへの掲載を行い、円滑な売買や賃貸契約を支援しているが、情報の発信が弱く町内外の皆さまに空き家バンク内の情報が届いているとは到底思えない。</p> <p>情報の発信の仕方を工夫し、有効に空き家バンクを活用するべきではないか。</p> <p>また、大津町内の皆さまに空き家の利活用に関するセミナーの開催やハンドブックの作成を行い、空き家バンクへの登録を促す考えはないか。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 小学校での国際交流について</p>	<p>(1) 現在、全国的なグローバル化の波を受け大津町でも小学校単位での国際交流が行われている。</p> <p>これは、子どもたちのコミュニケーション能力の向上や主体性を育む上で非常に重要なものである。</p> <p>しかし、大津町では美咲野小学校、室小学校、大津小学校では台湾と交流が行われているが、大津北小学校や大津東小学校、大津南小学校、護川小学校では行われていない。</p> <p>今後、大津町ではT SMCの進出に伴い、さらに国際化の波が押し寄せるものと予想されるが、この波を乗り越えるため大津町町内の全小学校で国際交流をしていくべきではないか。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 持続可能な地域公共交通について</p>	<p>(1) 2022年以降のコロナ禍の長期化や近年の多頻度化、大規模化する自然災害によって鉄道施設が被災する事例が増加しており、JR各社は甚大なダメージを受け、現在もJR発足以来最大の危機的な状況が続いている。これまで都市圏輸送、新幹線輸送等が生み出した利益や鉄道以外の不動産業など多角的経営によって生み出された利益を地方路線の不採算路線に充当する形で支えてきた。『内部補助』に基づくビジネスモデルが限界にきている。その影響で、駅の無人化や電車の4両ワンマン化などの合理化が相次いでいる。このままでは地域公共交通の存続の危機と言える。この危機的状況を鑑み利用者にとって利便性と持続性の高い地域公共交通を再構築する必要があると考える。以上を踏まえ町の見解を問う。</p> <p>①今年2月に国交省に設置された有識者検討会『鉄道事業者と地域の協働による地域モビリティの刷新に関する検討会』で議論された内容について、町の見解を問う。</p> <p>②地域公共交通にとって、住民・利用者等が公共交通のあり方（乗り合いタクシー・巡回バス等）を主体的に考える環境作りが必要だと思うが、『まちづくり』と『公共交通の再生』をセットに、中長期的な展望に基づき事業者や住民を巻き込んだ議論が必要だと思うが、町の見解を問う。</p> <p>③2050年のカーボンニュートラル実現に向けた取り組みが求められている。鉄道はその特性から様々な面で社会的・環境的優位性を有している。しかしながらコロナによる減収・リモートワークの推進等により政府が考える以上に危機的状況にある。鉄道部門への支援（需要喚起策・上下分離方式等）・補助を国や県に強く要請するべきではないか。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 6 番
 通告者 山部 良二 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 消費生活相談について</p>	<p>(1) 今年4月から成年年齢が引き下げられた。年齢に達すると親の同意なく自分の意思で契約できるようになり安易に契約を交わすとトラブルに巻き込まれる可能性があり、今までであれば20歳未満であれば親の同意を得ず契約した場合には『未成年者取消権』が行使できたが、18歳から『未成年者取消権』が行使できなくなる。また高齢者を狙う消費者トラブルも年々増加しており、今後、高齢者人口が増加することから、相談情報を活用し被害防止を図る啓発活動や消費生活相談業務のさらなる強化が必要ではないか。町の見解を問う。</p> <p>①学校教育・社会教育における若年者の消費者教育の強化が重要課題だと思われるが町の対応と強化策は。</p> <p>②消費生活相談業務の専門性の強化・啓発活動の強化・相談受付のバックアップ支援・強化が必要ではないか。町の見解を問う。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>
<p>3. 家庭教育支援条例について</p>	<p>(1) 報道番組において『家庭教育支援条例』は、行政が家庭での思想教育に介入する手段であり、特定の宗教団体が目指す家庭への法的強制力の押し付けを進めるため、熱心に地方議会でアピールし推進している政策だと言う報道がある。これが本当であれば深刻な問題である。本町でも教育委員会がピースロードを後援したと言う事実もある。以上を踏まえ、本町でも今後『家庭教育支援条例』を制定する可能性はあるのか。町の見解を問う。</p>	<p>教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 7 番
 通告者 永田 和彦 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. マイナカードの普及について</p>	<p>(1) マイナカードを巡っては総務省が、自治体のカード普及率に応じて、2023年度から地方交付税の配分額に差をつける方針も表明している。個人情報の漏洩が懸念される中、普及を促す策を求める。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 外国人の高度人材呼び込みについて</p>	<p>(1) 国は高度な知識や技術を持つ外国人を招き、新規事業の立ち上げや外国進出の契機とし地場産業の育成につなげる。 「高度人材ポイント制」を今年度中に改め、在留資格で優遇措置を受けられるようにする事は、半導体のサプライチェーンのみならず、様々なグローバル企業にとっても追い風となる。世界視野のまちづくりは始まっているのである。現状認識と取るべき施策とは何か。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 8 番
 通告者 山本 富二夫 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. 町独自の先行投資をすべきだ</p>	<p>(1) 町民の方から、T S M Cの進出が決まってからの大津町の動きが他の市町村に比べて動きが遅いのではと質問を受ける。 工業団地造成や空港アクセス道路は、民間主導では難しいので町が先行投資して造るべきと思うが町長の考えを問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>2. 農業経営安定化への取り組みを町は支援を行うべきだ</p>	<p>(1) 世界的なコロナ禍とウクライナ紛争で、農家には作物に使用する肥料が、昨年に比べ1.7倍に上がり、又、肥料や飼料の輸入は激減している。 J A菊地も危機感を持ち、国や県に要望している。 大津町も農業経営安定化の為に、国や県に対策を要望して貰いたい、今後の農家に対しての対策について町長の考えを問う。</p>	<p>町 長</p>
<p>3. 太陽光発電所の新設には町独自の条例を設けるべきだ</p>	<p>(1) 熊本県の許可のもと、町内にも大型の太陽光発電設備があるが、一般的には線状降水帯などの大雨には、対処できず下流地区に被害が及ぶ恐れが考えられる。 被害を防ぐために町独自の条例をつくるべきだと思うが町長の考えを問う。</p>	<p>町 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>1. ヤングケアラー問題のその後の状況と支援について</p>	<p>(1) 昨年6月、この問題について質問した。その後ヤングケアラー問題と支援についてどうなっているのか。 各学校内でも新型コロナが多発している中、欠席も多いと思うが子ども達の家庭や学校生活の状況を踏まえ、ヤングケアラー支援に漏れはないのか、支援体制は整備されているのか伺う。</p> <p>①今回あらためて、現在の小、中学校の現状についてどうなっているのか。</p> <p>②前回の質問において、その支援をどのように強化したのか。</p> <p>③町、教育委員会として現状を踏まえどのような課題があり、その解決に向けて何が必要だと思っているのか。</p>	<p>町 長 教 育 長</p>

一般質問通告書

通告順番 9 番
 通告者 大塚 益雄 議員

質問事項	質問の要旨	質問の相手
<p>2. 外国人在住者に対する町の支援について</p>	<p>(1) 現在、人づくりによる国際貢献という目的と人手不足を補う労働力として来町されている外国人技能実習生を含めて、3月末現在約400名の外国人の方が大津町に在住されている。 町としても外国人の方が、大津町に来て働いて良かったと思えるよう本町にも外国人の方が交流できる支援等々、前向きな考えはないのか。 今後、TSMC関係で今以上の、外国人の方が増加していくと考える。今のうちから対応しておくべきではないのか又、町として出来ることは支援してく考えはないのか伺う。</p> <p>①外国人の相談はあるのか。相談窓口関係者へのPRについて。</p> <p>②外国人の方と本町の双方がプラスになる仕組み、住民との異文化交流について。</p> <p>③本町イベントへの参加PRについて。 (からいもフェスティバル、大津つつじ祭り、地藏祭り等々)</p>	<p>町 長</p>